

JIS

サーメット溶射

JIS H 8306 : 2009

(JTSS/JSA)

平成 21 年 4 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 非鉄金属技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	神尾 彰彦	東京工業大学名誉教授
(委員)	木股 隆三	株式会社ビスキャス
	小出 正登	日本伸銅協会 (三菱マテリアル株式会社)
	近藤 良太郎	社団法人日本電機工業会
	齋藤 鐵哉	独立行政法人物質・材料研究機構
	下村 孝	社団法人日本鉄道車輛工業会
	田村 泰夫	日本鋳業協会
	中野 利彦	株式会社神戸製鋼所
	中村 守	独立行政法人産業技術総合研究所
	西村 尚	東京都立大学名誉教授
	林 央	独立行政法人理化学研究所
	町田 克己	住友金属鉱山株式会社
	矢萩 強志	財団法人日本船舶技術研究協会
	吉田 英雄	社団法人軽金属学会 (住友軽金属工業株式会社)
(専門委員)	野原 慈久	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 14.8.20 改正：平成 21.4.20

官 報 公 示：平成 21.4.20

原 案 作 成 者：日本溶射協会

(〒577-0809 大阪府東大阪市永和 2-2-29 永和ビル 1 号館 TEL 06-6722-0096)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：非鉄金属技術専門委員会 (委員長 神尾 彰彦)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類及び記号	1
5 溶射加工	5
5.1 溶射加工品（素材）の前処理	5
5.2 ブラスト粗面処理	5
5.3 溶射施工	6
5.4 溶射後の処理	6
5.5 安全衛生対策	6
6 品質	7
6.1 外観	7
6.2 溶射皮膜の断面組織	7
6.3 溶射皮膜の厚さ	7
6.4 溶射皮膜の引張密着強さ	7
6.5 溶射皮膜の硬さ	7
6.6 耐熱衝撃性	7
6.7 耐食性	7
6.8 耐摩耗性	7
7 試験方法	8
7.1 外観試験	8
7.2 溶射皮膜の断面組織試験	8
7.3 溶射皮膜の厚さ試験	9
7.4 溶射皮膜の引張密着強さ試験	9
7.5 溶射皮膜の硬さ試験	9
7.6 耐熱衝撃性試験	10
7.7 耐食性試験	10
7.8 耐摩耗性試験	10
8 検査	11
9 表示	12
附属書 A（参考）サーメット溶射皮膜記号の表示方法の例	13
解 説	14

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本溶射協会 (JTSS) 及び財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS H 8306 : 2002** は改正されこの規格に置き換えられ、また、**JIS H 8667 : 2002** 及び **JIS H 9303 : 2004** は廃止され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権及び出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

サーメット溶射

Cermets thermal spraying

1 適用範囲

この規格は、部品、製品などに対し、耐摩耗性、耐食性、耐熱性などを付与する目的で施すサーメット溶射について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS B 0601** 製品の幾何特性仕様 (GPS) - 表面性状：輪郭曲線方式 - 用語、定義及び表面性状パラメータ
- JIS B 7725** ビッカース硬さ試験 - 試験機の検証
- JIS B 7734** ヌーブ硬さ試験 - 試験機の検証
- JIS G 5903** 鋳造ショット及びグリット
- JIS H 8200** 溶射用語
- JIS H 8250** 溶射の記号による表示方法
- JIS H 8260** 溶射用粉末材料
- JIS H 8401** 溶射皮膜の厚さ試験方法
- JIS H 8402** 溶射皮膜の引張密着強さ試験方法
- JIS H 8503** めっきの耐摩耗性試験方法
- JIS R 6111** 人造研削材
- JIS Z 2244** ビッカース硬さ試験 - 試験方法
- JIS Z 2251** ヌーブ硬さ試験 - 試験方法
- JIS Z 2371** 塩水噴霧試験方法
- JIS Z 8401** 数値の丸め方

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS H 8200** による。

4 種類及び記号

サーメット溶射の種類及び記号は、次による。

- a) 溶射方法、溶射材料の種類、皮膜の厚さなどの記号は、**JIS H 8250** による。
- b) 溶射皮膜の種類を表す記号は、**JIS H 8260** の表 11 の炭化物サーメット粉末の種類を表す記号をそのま